



タイトル「**2011年度シラバス(学部)**」、フォルダ「**2011年度シラバス(学部)-基礎教育科目-情報(H23)-1年次シラバス掲載科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



科目名	* 基礎ゼミナル(情報科学基礎演習 I)		
担当教員	澤田 直		
対象学年	1年	クラス	[017]
講義室		開講学期	前期
曜日・時限	月4	単位区分	必
授業形態		単位数	1
準備事項			
備考			
A講義概要/Class Outline	入学直後の情報科学部学生に対して、情報科学部の各教員がそれぞれ提示するテーマについて調査、分析、討論、実装等を行わせることによって情報科学の基礎及び実感を新入生に理解させ、4年間で学ぶ情報科学についての展望を持たせることを目的とする。情報科学部各教員に学生を分属させて各教員が分担して学生を指導する。また、少人数教育の利点を活かし、プレゼンテーションやディスカッションなど口頭発表の技法についての演習を行う。		
B講義計画(テーマ及び学習内容)	クラスを担当する教員の指導でクラス毎に独自のテーマで演習を実施する。それぞれのテーマの具体的な内容は学部のウェブページに掲載する。演習の結果はウェブ形式のレポートとして公開する。 また、図書館の利用・文献検索の方法等に関する図書館ガイダンス、および、社会の構成員としての自覚・責任感・倫理観を学ばせる目的で薬物乱用防止講演会等を実施する。		
	回	内容	
	1	全体ガイダンス、基礎ゼミナル(情報科学基礎演習 I)に関する説明及びクラス分け、履修計画の指導	
	2	クラス毎のガイダンス	
	3	外部講師による講演会 社会の構成員としての自覚・責任感・倫理観を学ぶ	
	4	図書館ガイダンス 図書館の利用・文献検索の方法等	
	5	キャリア支援センターによるセミナー	
	6	外部講師によるコミュニケーション演習	
	7	クラス毎のテーマで演習 テーマ:小型ロボットシミュレータを用いたプログラム演習(1)基礎	
	8	クラス毎のテーマで演習 テーマ:小型ロボットシミュレータを用いたプログラム演習(2)繰り返し、条件分岐	
	9	プレゼンテーションやディスカッションなど口頭発表の技法についての演習	
	10	クラス毎のテーマで演習 テーマ:小型ロボットシミュレータを用いたプログラム演習(3)迷路脱出	
	11	クラス毎のテーマで演習 テーマ:模型計算機シミュレータを用いたプログラム演習(1)基礎	
	12	クラス毎のテーマで演習 テーマ:模型計算機シミュレータを用いたプログラム演習(2)加減算	
	13	クラス毎のテーマで演習 テーマ:模型計算機シミュレータを用いたプログラム演習(3)乗除算	
	14	ウェブ形式のレポートの作成	
15	ウェブ形式のレポートの公開		
C到達目標/Class Goal	(1)与えられたテーマについて、教員の指導などに従って、調査、分析、討論、実装などを行うことができる。 (2)結果を適切にまとめて公開することができる。 (3)仕事を計画的に進め、期限内に目標を達成することができる。 (4)自主的に学習を進めることができる。 (5)チームワーク力、リーダーシップ力がある。		
D準備学習の内容(事前・事後学習)	講義時に指示する。 大学における生活や学習の方法に早く慣れると共に、大学の様々な施設や支援制度などを活用する方法を学ぶこと。		
E評価基準GradingCriteria	秀:(1)~(5)を満たす。優:(1)~(4)を満たす。良:(1)~(3)を満たす。可:(1)と(2)を満たす。		
F評価方法/Grading Method	(1)と(3)は学習態度とウェブレポートで評価する。(2)はウェブレポートで評価する。(4)と(5)は学習態度で評価する。		
G受講上の注意/Class Rules	ウェブ形式のレポート提出がないと単位の取得はできない。 必要な場合には学外授業を行うこともある。 講義計画は、学生の適性や進捗状況により変更することがある。		

H 受講制限/Prerequisite	なし	
I 関連する科目/RelatedClass	情報リテラシー演習	
J 教科書/Text	著者名	
	著書名	なし
	出版社名	
	ISBNコード	
K 指定図書/Assigned Books	著者名	
	著書名	なし
	出版社名	
	ISBNコード	
L 参考文献/Bibliography	著者名	
	著書名	適宜指示する。
	出版社名	
	ISBNコード	

